

留学生いわて

2021年度 岩手県留学生交流推進協議会



盛岡大学国際交流イベント

留学生のみなさんへ

盛岡大学長代筆 文学部英語文化学科教授 照井 悦幸



2019年3月、アイザック・ロス君がカナダに帰国したのち、本学の海外留学生は途絶えたままである。地元の大学に戻って勉学を続けているはずだが、元気でやっているだろうか。以前の生活に戻りつつあるとは聞くと、カナダでも同様にこのパンデミックで制約のある学生生活を余儀なくされているのであろう。世界的な規模で感染が拡大するさなか、帰国していったアイザックが入国時に2週間の隔離を強いられたと聞いて、ふと10年前の盛岡、厨川駅待合室のシーンが思い出された。東日本大震災に関わる複合的な災害で、留学生達が帰国を強いられたときのことである。見送りにきた日本人学生とリュックに荷物をまとめた留学生。あの非常事態にみんなが重苦しく、どうしようもなく別れを告げたものだった。あの時の心情が、このパンデミックに蘇る。何とかしたい思いには、民族も国境もない。

留学生の数は少ないが、本学もカナダと中国、2つの海外提携大学と学生の交換派遣を続けてきた。ブリテッシュ・コロンビア州ビクトリア市のカモーンソン大学との交流は、盛岡市が姉妹都市交流を始めた2年あとの1987年から35年間に及ぶ。

We are now a second generation family who have attended the Morioka University as International exchange students from Victoria's Camosun College. My son Issac's experience at Morioka in 2019/20 has been just as educating as mine was back in 1989.

2年前に『盛岡大学同窓会会報 Vol.23』に寄せられたキャメロン・ロス氏の文である。このロス氏は、アイザックの父である。キャメロンさんは、本学がはじめて受け入れたカナダからの留学生であった。親子でこの盛岡を、日本留学の地として選んだ。感動させられる。大変うれしい。父ロス氏はいったん帰国して、ビクトリアの大学を卒業したのち盛岡に戻った。留学経験を生かしてテレビ局や英会話講師として活動した。そして、八幡平市出身のAYANOさんと出会う。プロポーズの場所は岩手公園(当時)であったという。

本学での留学をきっかけに、人生のパートナーに出会ったケースは他にもいくつかある。留学を終えていったん帰国後、再び日本に戻ってくるケースも、度々ある。英語講師、大学の留学センター職員、在日カナダ大使館で書記官を務めていたのもいた。中国、寧波大学から来ていた留学生の一人は、宮古市で地域おこし協力隊として活躍している。みな、どうしているであろう。あの頃よりもずっと日本語がうまくなっているだろう。

鞍掛山に姫神山登山、りんご狩りに温泉、報徳寺の五百羅漢に中尊寺、啄木に賢治記念館。さんざ踊りにわんこそば大会……。都会の留学生に比べれば、ひと味違った留学生活であろう。「TOKYOやOSAKAだけが日本ではない」と、私どもの留学生はみな言ってくれるに違いない。留学生たちをみんなでもてなし、みんなを支援する。数が少ないからこそ、それだけ留学生を大事にした。日本語クラスは、専門教員がほぼ個別の指導で行ってきた。学生も喜んで手伝った。国際交流より民衆交流なのである。そのうちにまた、息子ロス君のような留学生がやって来てほしいものだ。MORIOKAを目指してやってくる留学生を出迎えたいものだ。

岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ紙上会議（令和4年1月26日～令和4年2月4日）で開催し、28の構成団体から回答を得ました。

総会では、令和3年度事業計画として、①広報誌「留学生いわて」No.34の発行、②みんなの動画で岩手をつなげよう「ハッピーニューイヤー動画コンテスト」の開催について、それぞれ審議のうえ実施することとしました。

また、令和2年度事業として、①総会の開催、②広報誌「留学生いわて」No.33の発行、③「withコロナ時代の留学生たちは？」作文コンクールの実施、④外国人留学生フィールドスタディ in Iwate（企業訪問）の実施について報告があり、さらに令和3年度地域交流等実施計画調査、岩手県内高等教育機関（大学・高专）留学生データについて報告がありました。

みんなの動画で岩手をつなげよう！ ハッピーニューイヤー動画コンテスト実施報告

令和3年度事業として「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を実施しました。

平成25年度から実施してきた「岩手のいいところ写真展」は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、令和2年度は特別企画として「withコロナ時代の留学生たちは？」をタイトルに作文コンクールを開催し、今年度は「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を開催しました。情報化社会において、岩手の良さや留学生活の今を写真から作文へ、さらに動画へとスイッチし、SNSを活用した広範囲でのPR活動にも結びつけることができました。

動画コンテストは、岩手県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に、自由なテーマで、岩手の風景や伝統文化を紹介する動画、趣味や部活を紹介する動画、新年にチャレンジしたいことの動画を募集したところ、グループによる応募が2件、個人による応募が5件ありました。所属機関別では、岩手大学から3件、岩手県立大学から1件、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校から2件、上野法律ビジネス専門学校から1件となります。岩手の美しい風景や岩手で生活する留学生としての一日、岩手ならではの余暇の楽しみ方等、岩手の魅力が凝縮された作品が集まりました。応募作品を協議会ホームページからご覧いただけます。

令和3年3月8日（火）に行われた表彰式では、受賞者に表彰状と各協賛団体等から提供された賞品が贈呈されました（詳細は本紙の3ページをご参照）。岩手県留学生交流推進協議会長の小川智岩手大学長からは「応募作品はそれぞれに個性と良さがあって、優劣を付けがたかった」、「留学期間中は岩手の良さはもちろんのこと、日本の良さをたくさん知ってほしい」、「卒業したら日本と母国を繋げる架け橋になってほしい」と、講評をいただきました。

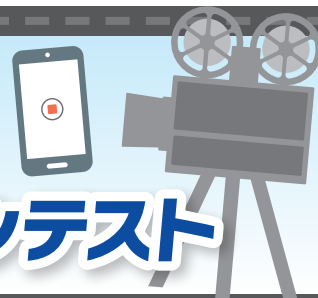
協議会構成機関より、たくさんのご協賛をいただき誠にありがとうございました。受賞された留学生には、図書カード、南部せんべい、クッキー、瓶ドン、岩手県産リンゴジュース、市町村のグッズ、マスクなどが副賞として一人一人に手渡されました。

なお、表彰式の様子はオンラインでの視聴もできるようにし、感染対策として会場までに来られなくても視聴できるように対応しました。

令和3年度岩手県留学生交流推進協議会事業

みんなの動画で岩手をつなげよう

ハッピーニューイヤー動画コンテスト



1 開催趣旨・内容

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」と言う）の世界的流行に伴い、わたしたちの生活スタイルは大きく変わってきました。

その中で、県内在住の留学生から2022年に向けて、盛り上げたい内容、頑張りたい内容の動画を募集して、岩手と世界をつなげていきます。

自由なテーマで、岩手の風景や伝統文化を紹介する動画、趣味や部活を紹介する動画、新年にチャレンジしたいことの動画などを募集して、本協議会のHP、事務局のInstagramとYouTubeで広く紹介します。

2 応募資格

本協議会に加盟する岩手県内高等教育機関に在籍する外国人留学生

3 募集期間

2021年12月24日（金）から2022年1月31日（月）

※応募いただいた作品は、事務局がチェックし、本協議会のHP、事務局のInstagramとYouTubeで公開します。

4 応募作品

- ①未発表作品に限ります。
- ②個人での応募、またはグループでの応募もできます。
- ③複数応募ができます。ただし、応募動画1件につき、応募フォームをそれぞれ入力する必要があります。
- ④動画の長さは20秒～1分以内で作成してください。動画内へ静止画像の挿入可能です。
- ⑤1動画あたりの上限は1GBまでで、ファイル拡張子はmov、mp4、wmv、aviのいずれかにしてください。
- ⑥撮影機材はスマートフォン、デジタルカメラなど問いません。
- ⑦使用言語は日本語と英語を推奨しますが、字幕についてはどの言語でも可能です。
- ⑧動画は本事業の基本全公開になります。出演者がいる場合、制作する前に許可を取ってください。
- ⑨動画に音楽、映像、音声等を使用する場合、著作権処理を済ませたもの、もしくはオリジナル作品を使用してください。

5 応募するときに注意すること

- ①応募後の動画の差替え、修正はできません。
- ②応募作品の著作権は作成者に帰属しますが、本事業の広報を目的に主催者が使用することがあります。
- ③著作権やその他知的財産権や肖像権等、第三者の権利を侵害する作品は応募できません。

6 応募方法

指定フォームでお申し込みください。

7 募集した動画は、本協議会のホームページと事務局 Instagram・YouTubeに掲載します。

8 優秀作品について

令和3年3月5日（火）11:30 - 12:00

9 表彰式

令和4年2月予定

10 協賛団体等

★ご協賛いただきましたみなさま、誠にありがとうございました！

- | | | | |
|---------------|---------------|-----------------------|---------------|
| ○岩手県国際交流協会 | ○岩手大学 | ○日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会 | |
| ○岩手県ユネスコ連絡協議会 | ○上野法律ビジネス専門学校 | ○宮古市国際交流協会 | |
| ○岩手県立大学 | ○盛岡大学 | ○盛岡市 | ○山下善昭（軽米町・個人） |

令和3年度岩手県留学生交流推進協議会事業

みんなの動画で岩手をつなげよう【ハッピーニューイヤー動画コンテスト】受賞リスト

| 賞名 | 受賞者 | 出身国 | 学校名 | タイトル | 副賞 |
|--------------------------|---------------------------|---------|------------------------|--------------------|---|
| ①岩手県 留学生交流推進 協議会長賞 | ルゾン キンバリー ジョイ エスムンド | フィリピン | 盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校 | 盛岡ホットスポット | 岩手大学 (図書カード) 岩手県立大学 (たきざわスイカスパークリング) |
| | グルン プラビン | ネパール | | | |
| | ティマルシナ ジヴァン プラサド | ネパール | | | |
| | ラマ アシス | ネパール | | | |
| ②岩手県 国際交流協会賞 | ロニー エモデ | バングラデシュ | 上野法律 ビジネス専門学校 | We love Iwate | (公財) 岩手県国際交流協会 (図書カード) |
| ③盛岡市賞 | チャルシリ パス | タイ | 岩手大学 | This is Iwate | 盛岡市 (手ぬぐい、缶バッジ、 ジュース、ボールペンなど) |
| ④盛岡大学賞 | 石 良 (シー リャン) | 中国 | 岩手県立大学 | 岩手の大地に舞う | 盛岡大学 (盛大クッキー) 上野法律ビジネス専門学校 (図書カード&マスク) |
| ⑤いわてユネスコ賞 | タン ドゥック チャン | ベトナム | 盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校 | 留学生の一日 | 岩手県ユネスコ連絡協議会 (南部せんべい) 軽米町山下善昭(個人) (軽米町特産品) |
| | マガル ビノド | ベトナム | | | |
| | ホアン ミン タム | ベトナム | | | |
| | プイ クワン ミン ニュット | ベトナム | | | |
| ⑥サーモンランド賞 | タタウロワ ナデージダ | ロシア | 岩手大学 | 盛岡の秋 中央公民館庭園の紅葉 | 宮古市国際交流協会 (瓶ドンセット) |
| ⑦ First Action 賞 | 赫 明南 (カク メイナン) | 中国 | 岩手大学 | 雪の国 スキーしよう | (公社) 日本青年会議所東北地区 岩手ブロック協議会 (図書カード) |



交流レポート

盛岡市教育委員会

盛岡市教育委員会では、毎年8月～11月に、盛岡市と米国アールラム大学との教育交流の一環として、アールラム大学短期留学生の受け入れ（サイズプログラム）を行っています。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。（盛岡市と米国アールラム大学の教育交流は、今年で50年目を迎えます。）

今回は、同プログラムに参加経験があり、現在市内で外国人英語指導講師（ALT）として勤務している4名に、当時の思い出などについて紹介してもらいました。

I took part in Earlham College's Studies in Cross Cultural Education (SICE) Program in the fall of my junior year. I was nervous to travel abroad for the first time, but was also excited to finally go to Japan and experience what I had only been able to see from pictures. SICE gave me the opportunity to experience life as both a college student and ALT. During the week I took courses at Iwate University and taught English to junior high school students. The weekends were filled with various activities and trips. Looking back, it's no wonder that I returned to Morioka again after graduation. I truly think the time spent during SICE will stay with me forever. (Abigail Crabtree; SICE2016)



I had many great experiences during my time at SICE. Along with a group of friends from Earlham, I was able to enjoy many different places in Iwate, and many Morioka events. I was able to carry the Mikoshi (though my shoulder was sore the next day), I could go to my first Onsen, and I could wear traditional clothing in Hiraizumi, along with Kimonos and Katanas at a local kimono rental place. I also was able to travel all over Japan, from Tokyo, to Okinawa, to Hokkaido, to Mt. Fuji. Through all of this I was able to also learn about life in Japan by teaching local students at Senboku Middle School, and became friends with students at Gandai. I think SICE was one of the best experiences of my college life. (Elijah Owens; SICE2017)

In the Fall of 2018, I visited Morioka to study education, language, and culture through Earlham College's SICE program. I stayed with a host family, studied at Iwate University, and student taught at a local junior high school. Although it was only for three months, I was able to make lasting and meaningful connections. I was privileged enough to come back as an ALT in 2020. I now spend weekends volunteering at Iwate University, and playing with my host family's one-year-old. I'm moved by the warmth that this community has, and want to do everything I can to give back. (Katherine Bangley; SICE2018)

The SICE program is a great combination of studying abroad and the experience of working in Japan. We engaged in many different cultural festivals and practices of Japan and Morioka specifically. This includes local parades, formal meetings, school cultural festivals, and the everyday workplace. We also traveled to very interesting places in Iwate as well as Japan as a whole. Some places we went to include Hiraizumi, Taro, Kyoto, and a time for independent travel. It's an experience that definitely changes lives and opens new doors because I know it did for me. (Riley Vale; SICE2019)



交流レポート

盛岡市

(公財) 盛岡国際交流協会

盛岡市文化国際課と(公財)盛岡国際交流協会は、盛岡市役所別館7階にあり、盛岡市の歴史・文化の特性を生かしながら、幅広い分野の国際交流に関する活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際交流の促進を図る活動をしています。

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響に悩まされながらも、姉妹都市・友好都市交流をそれぞれの形で一歩ずつでも進めることができたように思います。また、盛岡国際交流協会においても、コロナの影響を注視しながら臨機応変に事業を実施しました。

盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年記念経済交流

令和2年度から延期となった盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年記念事業は、コロナ禍における新たな経済交流として、ビクトリア市に向けた盛岡市内の事業者の紹介 PR 動画の制作を実施しました。動画の公開に併せて商品も輸送し、ビクトリア市役所などの協力のもと、現地での PR 活動も展開していきます。

盛岡市では今後も、ビクトリア市をはじめとした都市間の経済交流を発展させていきたいと考えております。



盛岡市公式 YouTube チャンネル
経済交流促進動画再生リスト



盛岡市・花蓮市友好都市提携記念碑建立記念式典

令和元年 11 月 24 日に友好都市提携を行った台湾・花蓮市との友好都市提携を記念し、盛岡城跡公園内の川と緑と花の広場に友好都市提携記念碑を建立しました。

記念碑建立式典も開催し、あいにくの雨ではありましたが、両市の友好交流のきっかけとなった盛岡秋まつりの音頭上げや、花蓮市長からのビデオメッセージ、花蓮市から寄贈された民族衣装などを披露し、花蓮市への理解がより一層深まる機会となりました。



盛岡市公式 YouTube チャンネル
記念碑除幕式動画



宮古市

多文化共生推進の取り組み

宮古市では、宮古市国際交流協会と連携し、多文化共生推進の取り組みを進めています。取り組みを通して、言葉の壁をはじめとする外国人が感じる不便さの解消、市民が多文化に触れ、グローバルかつローカルな視点で考える機会の増加、外国人材とのネットワーク強化・外国人材の地域での活躍につなげたいと考えています。

2021年度、新型コロナウイルス感染症の影響の中、新しい生活様式を模索しながら実施したことを、「国際交流・国際理解活動」「外国人市民等支援」「インバウンド対応」の3つの分野から一つずつ紹介します。

● 国際交流・国際理解活動 ～アフリカンス語初級講座～

2021年7月4日～25日に、東京オリンピック・パラリンピックで、宮古市がホストタウンになっているナミビア共和国について、市民の理解を高めることを目的に実施しました。講師は、宮古市在住でナミビア出身の佐々木アニータさんです。今後の交流に活かします。



● 外国人市民等支援 ～日本語教室「さくら」～

日本語教室が情報提供の場になり、外国人の皆さんと地域をつなぐ役割を担うことを目的に、月4回程度、定期的な日本語教室を開催しています。緊急事態宣言が発令された2021年8月～9月、2022年1月以降は、ZoomやLINEなどを使用し、オンラインで開催しています。今後は、対面式とオンライン式を併用した「ハイブリッド型日本語教室」を目指します。



● インバウンド対応 ～医療通訳研修会～

2022年1月23日に、外国人観光客・外国人市民が医療機関を受診する際に、通訳としてサポートできる人材を増やすことを目的に実施しました。県外在住の講師の方々とはオンラインでつないだほか、受講者もオンラインでの参加を募り、会場参加者を少人数としました。アフターコロナの外国クルーズ船寄港再開を見据え、準備を継続しています。



詳しくは、宮古市国際交流協会のホームページ等をご覧ください。



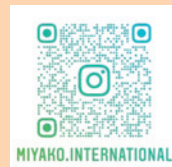
HP



FB



YouTube



Instagram

留学生紹介

Iwate : a Place of Serenity

Ashis Kumar Mandal (Bangladesh)

Iwate Prefectural University, Graduate School of Software and Information Science



About three and a half years ago, I came to Iwate Prefectural University as a MEXT Researcher and then was admitted as a PhD student. While in Iwate, I have the opportunity to observe the stunning beauty of Iwate, meet some wonderful people and get acquainted with the rich culture of Japan, all of which will remain in my memory forever.

The natural beauty of Iwate is truly stunning. It is probably one of the best places to observe the four seasons of Japan. Whenever it is cherry blossoms in spring, the deep green in summer, colourful leaves in autumn, or snow in winter, nature decorates

this place so beautifully that everything have attracted me very much. I have visited Jodogahama Beach, Hiraizumi, Hanmaki, Hachimantai, Miyako, Ninohe/Ichinohe and a few more places in Iwate where I observed the breathtaking natural beauty.

If one is looking for peace and tranquillity in life, Iwate must be a suitable place to live. Although there is not much hustle and bustle in this area, I enjoy living here where I have gotten almost all the amenities of life. Everyone here is polite and helpful. Whenever I have faced any problem, I have obtained a lot of support. I am especially indebted to my academic advisor, my lab members, other selfless people in the prefecture. Without their invaluable support, it would be difficult for me to continue studying without stress. What really fascinates me here is the punctuality of the people, the cleanliness of the surroundings and the security of life.

In addition to studying, I have become acquainted with the local culture and festivals, which has been a unique experience for me. I enjoyed learning Japanese, and I am glad that now I can continue the basic conversation in that language. Regarding local foods, I like reimen, sushi, and especially obento because they are tasty and fresh. The festival here is always lively and enjoyable. My two most memorable festivals in Iwate are Hanamaki Festival and Sansa Odori.

How fast time passes! It seems like only yesterday I arrived. I may return to my home country after finishing my study, but the wonderful experience and knowledge I have gained while in Iwate will be a truly invaluable asset for the rest of my life.



Find your Gems in Iwate

Ladloy Vithawat (ラッドローイ ウィッタワット・タイ)
Iwate University, Graduate School of Science and Engineering



If people talk about Japan, they might be thinking about Tokyo, Osaka, Kyoto, or Hokkaido. But they do not know that Iwate is one of the Undiscovered Gems of Japan. As the 2nd largest prefecture of the country, there is a lot of things to explore inside and outside Iwate University.

I have been living in Morioka (as a student) for 1 year which is surrounded by beautiful natural landscape. I would like to divide into 2 parts, one part Education and the other part of Life Experience.

Iwate University gives me a lot of chances to participate in several academic activities, not just taking classes in the school but having workshops to cooperate with other people and learn each other.

In the part of Life Experience, I met some awesome people while here, both students and teachers, who have taught me many new things. I met my new friends in both face-to-face classes and online in school club. I personally like to meet new people because of various reasons, but I can prove that the Coronavirus is not an obstacle to make friends, this made me think that the diversity of life is so attractive and beautiful.

In Morioka, we can build relationships with people from different cultures more easily because this is a small town which is not focused on materialism like a big city. In Iwate, if you like the mountains, there is a lot of mountains to climb. If you like the beach, there are a lot of beaches to swim on the pacific ocean side. After school, you can find the balance of your life anywhere you want, just take a deep breath and enjoy the atmosphere.

I cannot explain every single memorable moment I have right now in one page, but I would like to ask you to come here and look around, keep trying, be hospitable and Iwate will embrace you softly. By doing so there will be some gems that you discover on your own.

留学生紹介

日本での経験

HOANG MINH TAM (ホアン・ミン・タム ベトナム)
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 日本語学科



私はベトナムから来たホアン・ミン・タムです。盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の日本語学科で勉強しています。日本に来て1年が過ぎました。

日本の印象は来る前とあまり変わりませんでした。来てみてもやっぱり、清潔で空気が新鮮で自然が豊かです。その清潔さのためには、留学生にとって一番難しいと言ってもいい「ごみの分類」が重要だと思いました。最初は他の留学生と同じように難しかったです。でも、時間が経つにつれ

て慣れてきました。ごみを出すことには厳しい規制がたくさんあります。しかし、基本的なルールを少し時間をかけて学べば、それほど難しくありません。初めてのことも、時間をかけてしっかり話を聞いてやってみればできないことはない、と思いました。日本人の規律をしっかり守る性格から私は影響を受けました。

また、私は日本に来てから生活ががらりと変わりました。特に食生活です。ベトナムにいたときは、母に全部任せていましたが、日本に来てからは大体の料理を自分で作るようになりました。少し大人になれたと思います。

でも、自炊だけではなくて、アルバイト先でまかないもいただいています。まかないはラーメンですが、初めて食べたときに日本の麺はベトナムでよく食べるカップラーメンと違う生麺だったので、なじみがありませんでした。でも、食べれば食べるほどラーメンが好きになりました。ほかにも、じゃじゃ麺や冷麺、まぜめんなどもおいしいです。盛岡を離れる前に盛岡でもっとおいしい食べ物を楽しみたいです。

私は日本に留学して勉強だけでなく、日本人の生活を学びました。また、自分の生活が変わったおかげで、生活面でも成長できたと思います。これから、私は岩手を離れて大学に進学しますが、これからも成長し続けられるように学んでいきたいと思っています。

留学生紹介

私から見た日本

YONJAN LAMA ANUP (ヨンジャン ラマ アヌブ ネパール)
上野法律ビジネス専門学校 日本語学科



私はネパールから日本に来て1年になりました。日本に来て感じたことや驚いたことを紹介します。

まず、日本で初めて外を歩いた時、道が整っていて混んでいないことにびっくりし、同時にうれしい気持ちになりました。なぜなら時間のことをたくさん考えなくてもいいからです。ネパールでは道が整備されていないのでとても混んでいます。近くに出かけるときでも、とても早く家を出なければいけません。私も時々、学校や友達の約束に遅れたことがあります。早く家を出ても遅くなることがあるのですごく大変でした。また、日本の道路は広くて歩道もあって、交通事故が少ないです。ネパールでは道

路がせまくて歩道もないから、交通渋滞が多く、日本より事故が多いという問題もあります。さらに、日本は街灯がたくさんあるので夜は明るくて歩きやすいです。ネパールにも電気は通っていますが日本のように充実してないので、夜間に何かをしようとする懐中電灯が必要です。しかも、2週間に一回くらいの停電で電気が使えないときもあります。電気を使えないのはとても大変です。家で復習をしたり休憩のためにテレビを見たりするときに、電気が使えないとすごく悲しい気持ちになります。

また、日本にはたくさんコンビニがあります。いつでも食べ物を買うことができます。

私は夜勤のアルバイトをしていて朝方に家に帰るので、ごはんを作って食べる時間がありません。そんな時、私はコンビニで買い物をして、ご飯を食べて学校へ行くことができます。ネパールではスーパーはありますが、24時間営業のお店はありません。日本ではコンビニだけではなく、24時間のスーパーもあるので本当に便利です。

日本はネパールと生活や文化が違います。もちろんネパールは大好きですが、優しい人が多くて便利な日本も大好きです。今住んでいる盛岡も好きです。雪が多くて寒いけど、優しい人がたくさんいるし、きれいな場所もたくさんあります。これからもっと日本語を勉強して、お世話になった日本人にお礼を言いたいです。また、まだ知らない日本のことをこれからたくさん知りたいです。

私は上野法律ビジネス専門学校の日本語学科で勉強しています。卒業したら千葉の専門学校でホテル業を勉強する予定です。日本のホテルで働きたいです。仕事はもちろん、日本でたくさんの日本人に助けられたので、働いてから日本人に恩返しをしたいです。そのために日本語をもっともっと頑張ります。

留学生関係資料

令和3年度地域交流等実施計画調査結果

※ 2021年5月 調査時点

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|---------------------|-----------------------------------|--------------------|---|--|
| 岩手県留学生交流推進協議会 | みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト | R3.8～R4.2 | 岩手大学 | 岩手県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に、自由なテーマで、岩手の風景伝統文化を紹介する動画、趣味や部活を紹介する動画、新年にチャレンジしたいことの動画募集し優秀作品を表彰する。 |
| 岩手大学 | 留学生オリエンテーション | R3.4 R3.10 | 岩手大学 | 留学生及びチューターを対象とした、勉学・生活等に関するオリエンテーションを行う。 |
| | ガーデンパーティー | 新型コロナウイルス蔓延防止のため中止 | 岩手大学 中央食堂前 | 留学生が自ら企画・主催して、地域の住民を招待し、それぞれの国の文化紹介や料理等を提供して交流を図る。 |
| | 盛岡さんさ踊り参加 | 中止 | 盛岡市内 | 盛岡地域の伝統文化行事である「さんさ踊り」に留学生が参加し、市民との交流を図る。 |
| | 不來方祭（大学祭） | R2.10.16～17 | 岩手大学 | 留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店し、異文化理解と交流を図る。 |
| | 日本の伝統文化「着物着付け体験」 | 新型コロナウイルス蔓延防止のため中止 | 岩手大学 | 日本文化理解の一環として留学生が着物の着付け体験を行うことで、日本の伝統文化について学ぶ。 |
| | 岩手大学国際月間 | R3.11 | 岩手大学 | 岩手大学では学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、「岩手大学国際月間-Iwate University International Month」を開催。海外派遣プログラムに参加した学生の体験談発表展示や報告会、協定大学の教員による英語での講演会等様々なイベントを集中的に開催。 |
| | フィールドツアー（見学等） | R3.11 | 未定 | 東北地域の伝統文化体験や観光地・文化施設への訪問、見学を通して、留学生の交流促進、職業意識の高揚や日本と岩手の産業・文化・伝統への理解を深める。 |
| | フィールドスタディ（工場見学） | R4.2 | 未定 | 岩手大学在籍留学生の職業意識高揚や日本および岩手への理解を深めるため、岩手県にある企業や施設の見学を実施する。 |
| | フィールドスタディ（スキー） | R4.1 | 八幡平市 | 岩手大学在籍の外国人留学生が、母国で経験することの少ないスキーや雪遊び体験等を通じて、雪国である岩手の冬に親しみ、更に留学生相互、教職員並びに地域住民等との交流を図り、留学生生活への適応と留学生教育の効果を高める。 |
| 多文化多言語交流空間グローバルビレッジ | 通年 | 岩手大学 | 岩手大学の日本人学生と留学生、地域の一般市民（一部の事業）が参加できる課外国際教育プログラム①グローバルイベント・ワークショップ（国際交流・異文化理解・地域理解）②日本語カフェ（日本語で留学生と交流、会話）③English Time（英語個別相談、指導）などを開催している。 | |

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|--|---------------------------------|--------------------------------|-----------------|---|
| 岩手県立大学 岩手県立大学 盛岡短期大学部 岩手県立大学 宮古短期大学部 | 国際交流バスツアー | 夏季：R3.6頃 冬季：R3.12頃 | 岩手県内 | 留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を留学生に知ってもらう機会を提供 |
| | 風のモントで 国際交流 | R3.5～11 (2回) | 岩手県立大学 | 留学生による母国文化紹介や多文化理解講演会等の開催 |
| | 大学祭 | R3.10.30 ～31 | 岩手県立大学 | 留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店、海外研修パネル展示及び報告会の開催 |
| | 英会話交流事業 「English Time」 | R3.5～7、 R3.10～1の期 間中 月2回 | 岩手県立大学 | 初級者から上級者まで、気軽に参加でき、英語で楽しく会話する交流の場を提供 |
| | 留学生等の派遣事業 | 随時 | 岩手県内 | 岩手県内の各種団体等が実施する国際交流イベントや国際理解促進事業への留学生の派遣 |
| 富士大学 | 留学生 オリエンテーション | 年4回程度 | 富士大学 | 生活・授業・安全・その他に関する指導等を実施 |
| | ダニエル先生の英語 講座 | 前期・後期 | 富士大学 | 地元中高生や地域住民を対象に英語講座を開講する |
| | 学外研修旅行 | 夏季・冬季 休業時 | 県内 | 居住する地域の特性を知り日本文化の理解を深める |
| | 花巻まつり | R3.8～R3.9 | 花巻市 | 祭りに参加して、日本文化を体験する。 |
| | 紫陵祭（大学祭） | R3.10 | 富士大学 | 模擬店を出店して、母国の料理を披露する。 |
| | 花南地区コミュニ ティ会議富士大学・ 中学生交流会 | R3.12 | 花巻市 | 地域の中学生とゲームや意見交換等を通じて交流を深める。 |
| 盛岡大学 | スピーチコンテスト 英語文化学科 | R3.11 | 盛岡大学 | 学内から参加者を募り、英語によるスピーチコンテストを行う。その際、留学生はゲストスピーカーとして発表する。 |
| | 春季海外英語研修 | R4.2 | カナダ カモーンソン大学 | 学内から参加者を募り姉妹校であるカナダ・ビクトリア市にあるカモーンソン大学で行われる約2週間の英語研修に参加する。 |
| 一関工業高等 専門学校 | 留学生 オリエンテーション | R3.4 | 一関工業高等専 門学校 | 留学生を対象に、学習や生活に関するオリエンテーションを行う。 |
| | 国際交流サークル | 不定期 | 一関工業高等専 門学校 | 留学生が母国や、そこでの生活についてプレゼンテーションを行う。 |
| | 日本文化（書道） 体験 | R3.10 | 一関工業高等専 門学校 | 書道体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。 |
| | 日本文化（生け花） 体験 | R3.10 | 一関工業高等専 門学校 | 生け花体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。 |
| | 高専祭 | R3.10.30 ～31 | 一関工業高等専 門学校 | 留学生が母国の料理を販売する。留学生の書道・生け花作品を展示する。 |
| | 留学生の話を聞く会 | R3.12 | 一関工業高等専 門学校 | 留学生の母国の文化を紹介し、寮生の国際社会への知見を広げ、親睦を深める。 |
| | スキー体験 | R4.1 | 岩手県内 | 留学生に冬のレクリエーションを体験してもらう。 |

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|----------------------------|-------------------|----------------------|------------------------|---|
| 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 | 生活 オリエンテーション | R3.4 R3.10 | 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校日本語学科 | 盛岡国際交流協会の方から、ごみの捨て方やストーブの使い方など、日本の生活について知らなければならないことを学ぶ |
| | レクリエーション | R3.7 | 盛岡市内 | レクを通して、日本語学科全体の交流を図る |
| | 盛岡さんさ踊り | R3.8 | 盛岡市内 | さんさ踊りに参加し、日本の文化を体験する |
| | 日本語学科祭 | R3.9 | 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校日本語学科 | 留学生の出身国紹介を通し、参加者の方と交流を深める |
| | 課外授業 | R3.9 | 盛岡市内 | 盛岡市内の観光地を巡り、盛岡に関する知識を深める |
| | りんご狩り | R3.11 | 高館農園 | 岩手・ベトナム青少年を支援する会会員のみなさんと交流を深める |
| 上野法律ビジネス専門学校 | 春のスポーツ大会 | R3.5.28 | 盛岡体育館 | 全学生対象。種目はソフトバレーボール。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。 |
| | ファッション・メイクアップセミナー | R3.5.6 | 上野法律ビジネス専門学校 | 全学生対象。外部から講師を招いて実施。スーツの着方やメイクの仕方等を学ぶ。 |
| | 課外活動 | R3.7.16 | 岩手県内 | 留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。 |
| | 酒賈地蔵尊例大祭 | R3.7 下旬 | 盛岡市材木町 | 希望学生がボランティアで参加。神輿担ぎや出店の手伝いを行い地域と関わる。 |
| | 秋のスポーツ大会 | R3.10.22 | 盛岡体育館 | 全学生対象。種目は室内外の競技各種。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。 |
| | 課外活動 | R3.11.12 | 岩手県内 | 留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。 |
| | 上学祭(学園祭) | R3.11.26 R3.11.27 | 上野法律ビジネス専門学校 | 全学生対象。一般客を招くイベント。留学生は自国の紹介、出店、ステージイベントなどを行う。 |
| | 部活動 | 随時 | ※活動に応じる | 希望者が参加。フットサル、バスケットボール、テニスなどの部活動を実施。 |
| 岩手県 (いわてグローバル人材育成推進協議会) | グローバルキャリアフェア | R3.11.20 | 岩手産業文化センター(アピオ) | 県内留学生等の県内就職を支援するため企業との就職マッチングフェアを開催する。 |
| | 外国人を対象としたインターンシップ | R3.11 ~ R4.2 | 各受入企業 | 県内留学生等の県内就職を支援するためインターンシップを実施。 |
| | 企業訪問 | R3 下期 | 未定 | 県内企業の取組を理解し、県内就職等に繋げることを目的に企業訪問を実施。(例年岩手大学との共催で取り組んでいるもの) |

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|--|--|----------------------|------------------------------------|---|
| 岩手県教育委員会 | いわての地域国際化人材育成事業「海外派遣研修」北米コース | R3.10 中旬～下旬 | アメリカ合衆国 | 県内高校生 12 名を 14 日間アメリカ合衆国に派遣し、学校交流や企業訪問等を行う。 |
| | いわての地域国際化人材育成事業「イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～」 | R3.5～R3.9 全9回 | 県内4会場（県央、県南、沿岸、県北） | 小5～高3対象に、目的別の2種類の英語のワークショップを開催する。 |
| | 雲南省教育交流推進事業 | R3.9 中旬 R3.11 中旬 | 岩手県内、中国雲南省 | 本県と中国雲南省の教員同士が、受入と派遣を通して相互交流を深める。 |
| 一関市 | 中学生海外派遣事業 | 未定 (例年：7月下旬～8月上旬) | オーストラリア フィーンズランド州セントラルハイランズ市 | 中学生8名を国際姉妹都市へ派遣する。(11日間) |
| | セントラルハイランズ市高校生受入事業 | 未定 (例年：7月3日～7月8日) | 一関市内 | 国際姉妹都市であるオーストラリアのセントラルハイランズ市から高校生を受入、相互理解と友好を深める。 |
| | 日越教育交流事業 | 未定 (例年：10月下旬) | 一関市内 | ベトナムのホーチミン市から日本語を学ぶ大学生等を招聘し相互理解を図る。 |
| | 多文化共生事業 | 未定 (例年：11月) | 一関市内 | 外国人や地域住民との多文化共生について考える。 |
| 宮古市 | にほんご広場・ごみの出し方研修 ※多文化共生推進業務委託 | R3.5.17 | イーストピアみやこ市民交流センター | ごみの出し方をテーマに、宮古でのごみの出し方、ごみ出しに関連した日本語について理解を深めるほか、出身国での様子を紹介し合う日本語教室を開催 |
| | にほんご広場・フォトコンテスト ※多文化共生推進業務委託 | R3.6 下旬～12 下旬 | イーストピアみやこ市民交流センター | 「Cool!MIYAKO-jin (みやこ人)」をテーマに、宮古で出会った人物を対象としたフォトコンテストを開催 |
| | 外国語講座 ※多文化共生推進業務委託事業 | 未定 | 未定 | 外国語の初級講座を開催 |
| | 外国料理講習会 ※多文化共生推進業務委託事業 | 未定 | 未定 | 料理を通して、異文化理解を深める講習会を実施 |
| | みやこ秋まつり参加 ※多文化共生推進業務委託事業 | R3.9 | 市内 | みやこ秋まつり1日目の手踊りパレードに参加 |
| | にほんご広場・災害時研修 ※多文化共生推進業務委託事業 | R3.11.6 | イーストピアみやこ市民交流センター | 災害時の避難や日常の備え、よく使われる日本語について理解を深める日本語教室を開催 |
| | にほんご広場・書き初め研修 ※多文化共生推進業務委託事業 | R4.1.8 | イーストピアみやこ市民交流センター | 書道を体験するほか、ひらがな等日本語に興味を持つ、日本語教室を開催 |
| にほんご広場・にほんごスピーチコンテスト ※多文化共生推進業務委託事業 | R4.3.6 | イーストピアみやこ市民交流センター | テーマに沿って、自分の意見を日本語で発表するスピーチコンテストを開催 | |

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|-------------|--|-----------------------|--------------------|---|
| 盛岡市 | 盛岡市・花蓮市友好都市提携記念碑設置業務 | R3.10 | 盛岡城跡公園 | 令和元年に友好都市提携した台湾・花蓮市との記念碑を設置するもの |
| | キッズ・レッツ・プレイ | R3.10～R4.3 | 市内保育園学童クラブ等 | 未就学児，小学生を対象とした異文化体験講座 |
| | ボランティア研修会 | R3.7～R3.8 | 未定 | 登録ボランティアの資質向上のための講座 |
| | 国際理解講座 | R3.6 R3.9 R3.10 | 未定 | 国際交流に関心のある団体等に対する国際理解を深める講座 |
| | 生活オリエンテーション | R3.7 R3.12 | 盛岡情報ビジネス専門学校日本語学科等 | 在住外国人へ生活に役立つ知識を提供する講座 |
| | 世界の屋台村 | 新型コロナウイルス蔓延防止のため中止 | 岩手大学 | 岩手大学と連携し、外国籍市民が料理や民族舞踊で自国を紹介し、交流を図る事業 |
| | 外国籍市民との交流イベント | R3.8～R3.9 | 未定 | 在住外国人と市民が一緒になって楽しめる交流イベント |
| | 中学生による国際交流コンテスト | R3.9 | プラザおでって | 市内中学生による国際交流をテーマとしたスピーチコンテスト |
| | 中学生海外研修 | R3.11 | 未定 | 姉妹都市カナダ・ビクトリア市に市内中学生を派遣し、姉妹都市交流を促進する事業 |
| | 英語通訳講座 | R4.1～R4.2 | 未定 | 通訳としての技術向上のための講座 |
| | 日本文化体験講座 | R4.1 | 未定 | 在住外国人と日本文化を体験し、交流を行う講座 |
| | 異文化理解講座 | R4.2 | 未定 | 外国籍市民を講師に料理講座や文化紹介を行う講座 |
| | 語学・文化講座 | R4.2 | 未定 | 英語以外の言語について入門レベルの語学講座 |
| 盛岡市教育委員会 | 盛岡市とアールラム大学との教育交流 (ALTの招聘) | 通年 (毎年継続) | 盛岡市立各小・中・高等学校 | アールラム大学卒業生7名 (多くはSICEプログラム経験者) を招聘し、市立の中・高等学校に配置し、近隣の小学校にも派遣。 |
| | 盛岡市とアールラム大学との教育交流 (大学短期留学生の受け入れ・SICEプログラム) | R3.8～R3.11 | 盛岡市内 (各小・中学校) | 市立の中学校での英語授業への参加，市内でのホームステイをとおして，日米の教育実践の比較研究等に協力するための受け入れ事業。 |
| | 令和3年度米国アールラム大学留学生オリエンテーション | R3.8 下旬 | 盛岡市内 | 上記留学生と引率教授を対象に，盛岡市及び盛岡市の教育の概要について説明し，懇談。 |
| | 令和3年度米国アールラム大学留学生送別会 | R3.11 下旬 | 盛岡市内 | 上記短期留学の終了にあたり，盛岡市滞在の最後の思い出になるよう，夕食会を開催。 |
| 滝沢市 (教育委員会) | (仮称) 多文化共生セミナー「留学生と考えるピクトグラム」 | R3.7.10 | ビッグルーフ滝沢 | ピクトグラムに関するワークショップを通じた多文化共生の啓発を図ります。【岩手県国際交流協会と共催事業】 |
| | 幼児国際理解交流会 | 未定 | 市内 | 保育園児が外国人と接し、諸外国について学ぶ機会を提供します。 |

| 団体名 | 事業行事名称 | 開催時期 | 開催場所 | 概要 |
|---------------------|---------------------------------|-------------------|---------------|---|
| 公益財団法人 岩手県国際交流協会 | 外国人との交流会 | 毎月第一土曜日、隔月第三土曜日 | オンライン | 在住外国人との協働企画により、定期的に交流会や語学サロン等を開設する。 |
| | 2021 ワン・ワールド・フェスタ in いわて | R3.11.23 | アイーナ国際交流センター内 | 在住外国人やボランティア、関係団体等との連携による国際交流イベントを開催する。 |
| | フェアトレードディ | 未定 | オンライン | フェアトレードを通じて国際協力の意識啓発を図るイベントを実施する。 |
| | いわて災害時外国人支援体制構築事業 | 7月～12月(予定) | アイーナ及び県内数箇所 | 災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の意識の醸成を図る取組みを行う。 |
| | 多文化共生地域づくりセミナー | 7月中旬(予定) | ビックルーフ滝沢 | 外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするセミナーを開催する。 |
| | 多文化共生地域づくりワークショップの実施 | 未定 | 県内数箇所 | 外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたまちづくりについて考えるワークショップを実施する。 |
| | グローバルキャリアフェア | 未定 | 未定 | 留学生等外国人の県内企業への就職の切っ掛けとなる取組みを行う。 |
| | 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等 | 未定 | 盛岡市 | 留学経験のある学生等や県内在住外国人と会員企業の関係者が参加するワークショップや企業訪問を開催し、情報交流を行う。 |
| 国際ロータリー 第2520地区 | 米山校友会総会 | R3.7.25 | 江陽グランドホテル | 米山記念奨学生OB会総会 |
| | 米山記念奨学生研修旅行 | R3.9.26 | 一関方面 | 日本文化の理解を深める研修 |
| | 米山記念奨学会研修会 | R3.10.3 | 江陽グランドホテル | ロータリークラブ会長・米山委員長への研修会 |
| | 米山月間 | R3.10 | | 奨学生の各クラブスピーチ並びに非世話クラブへの奨学生派遣スピーチ |
| | 米山記念奨学生りんご狩り | R3.11.21 | 岩手県一関市近郊 | 親睦会 |
| | 奨学生選考試験(岩手地区) | R4.1.15 | アイーナ | 次年度の奨学生応募者に対し選考試験の実施 |
| | 奨学生選考試験(宮古地区) | R4.1.22 | 戦災復興記念館 | 次年度の奨学生応募者に対し選考試験の実施 |
| | 米山記念奨学生歓送会 | R3.2.13 | 江陽グランドホテル | 奨学生歓送会及び囲む会の実施 |
| | オリエンテーション(岩手・宮城合同) | R4.4.3 | 江陽グランドホテル | 合格した奨学生に対しオリエンテーションの実施 |
| 花巻ホームステイ協会 | ホームステイの受入れ | 随時 | 会員宅 | 現在のところ未定です。 |
| | 会員研修会 | 未定 | ホテル花城 | 花巻を訪れる海外在住者や外国人を講師に研修を行います。 |
| | クリスマスパーティー | R.12.18 | ホテル花城 | 花巻在住の外国人を招き、交流を行います。 |
| 岩手県ユネスコ連絡協議会 | 第18回岩手県高校ユネスコ研究大会 | R3.11.19～R3.11.20 | 岩手山青少年交流の家 | SDGsに関係の深いテーマで分会毎にワークショップ形式で課題を深める。 |
| | SDGsセミナー推進事業 | 期日未定 | 県内のユネスコ協会毎に実施 | SDGsについて講演やワークショップ形式での学習を深める。 |
| | ユネスコ国際理解推進事業 | 期日未定 | 県内のユネスコ協会毎に実施 | 国際理解に関する講演会を中心に交流の場も設定。 |

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和3年5月1日現在)

| 学 校 名 | 受入 人数 | 国別内訳 | | 経費種別内訳 | | | | 学生種別内訳 | | | | | |
|-----------------------|----------|---------|-----|--------|----------|----------|-----|----------|-----|----|-----|------------|------------|
| | | 国 | 人数 | 国費 | 政府 派遣 | 岩手 県費 | 私費 | 学部 学生 | 大学院 | | 研究生 | 科目等 履修生 | 聴講生 その他 |
| | | | | | | | | | 修士 | 博士 | | | |
| 岩手大学 | 191 | 中国 | 106 | 0 | 0 | 0 | 106 | 27 | 39 | 22 | 18 | 0 | 0 |
| | | モンゴル | 14 | 0 | 0 | 0 | 14 | 2 | 1 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| | | 韓国 | 14 | 0 | 0 | 0 | 14 | 11 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベトナム | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | タイ | 8 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 |
| | | インドネシア | 6 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 15 | 11 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 11 | 3 | 0 | 0 |
| | | マレーシア | 7 | 0 | 5 | 0 | 2 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 台湾 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | インド | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | カンボジア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | エジプト | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | シエラレオネ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベナン | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | ガイアナ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ドイツ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ロシア | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | コンゴ共和国 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ウズベキスタン | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 岩手県立大学 | 32 | 中国 | 18 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 8 | 5 | 1 | 0 | 4 |
| | | 台湾 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | インド | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | アメリカ | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | エジプト | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | インドネシア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | オーストリア | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 岩手医科大学 | 4 | タンザニア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | アメリカ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 中国 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 富士大学 | 29 | 韓国 | 19 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 中国 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 盛岡大学 | 1 | 韓国 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 岩手県立大学 宮古短期大学部 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 岩手県立大学 盛岡短期大学部 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 修紅短期大学 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一関工業高等専門学校 | 5 | モンゴル | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ウガンダ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ペルー | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベトナム | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校 | 21 | ベトナム | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ネパール | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ミャンマー | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 上野法律ビジネス 専門学校 | 28 | 中国 | 8 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 18 | 0 | 0 | 0 | 18 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ネパール | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 311 | | 311 | 32 | 6 | 0 | 273 | 138 | 66 | 78 | 24 | 0 | 5 |

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和3年11月1日現在)

| 学校名 | 受入人数 | 国別内訳 | | 経費種別内訳 | | | | 学生種別内訳 | | | | | |
|-----------------------|------|---------|-----|--------|------|------|-----|--------|-----|----|-----|--------|--------|
| | | 国 | 人数 | 国費 | 政府派遣 | 岩手県費 | 私費 | 学部学生 | 大学院 | | 研究生 | 科目等履修生 | 聴講生その他 |
| | | | | | | | | | 修士 | 博士 | | | |
| 岩手大学 | 194 | 中国 | 104 | 1 | 0 | 0 | 103 | 26 | 41 | 20 | 17 | 0 | 0 |
| | | モンゴル | 18 | 3 | 0 | 0 | 15 | 2 | 2 | 14 | 0 | 0 | 0 |
| | | 韓国 | 14 | 0 | 0 | 0 | 14 | 11 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベトナム | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | タイ | 8 | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | | インドネシア | 5 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 17 | 13 | 0 | 0 | 4 | 0 | 2 | 11 | 4 | 0 | 0 |
| | | マレーシア | 6 | 0 | 4 | 0 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 台湾 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | インド | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | カンボジア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | エジプト | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | カメルーン | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | シエラレオネ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベナン | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | ガイアナ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ドイツ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | ロシア | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | コンゴ共和国 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| オマーン | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 岩手県立大学 | 21 | 中国 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 7 | 3 | 1 | 0 | 4 |
| | | 台湾 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | インド | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | アメリカ | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | エジプト | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | インドネシア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 岩手医科大学 | 4 | タンザニア | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | アメリカ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 中国 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 富士大学 | 29 | 韓国 | 19 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 中国 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 盛岡大学 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 岩手県立大学 宮古短期大学部 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 岩手県立大学 盛岡短期大学部 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 修紅短期大学 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一関工業高等専門学校 | 5 | モンゴル | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ウガンダ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ペルー | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ベトナム | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校 | 20 | ベトナム | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ネパール | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ミャンマー | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | バングラデシュ | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 上野法律ビジネス専門学校 | 28 | 中国 | 8 | 0 | 0 | 0 | 8 | 5 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | | バングラデシュ | 18 | 0 | 0 | 0 | 18 | 6 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 |
| | | ネパール | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 計 | 301 | | 301 | 38 | 5 | 0 | 258 | 118 | 69 | 74 | 24 | 17 | 4 |

岩手県内高等教育機関における外国人留学生数の推移

(令和3年11月1日現在)

| 学 校 名 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年(H29) | | 2018年(H30) | | 2019年(R1) | | 2020年(R2) | | 2021年(R3) | |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----|------------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
| | 5月 (H24) | 5月 (H25) | 5月 (H26) | 5月 (H27) | 5月 (H28) | 5月 | 11月 | 5月 | 11月 | 5月 | 11月 | 5月 | 11月 | 5月 | 11月 |
| 岩手大学 | 202 | 190 | 194 | 199 | 207 | 218 | 222 | 214 | 229 | 238 | 240 | 201 | 182 | 191 | 194 |
| 岩手県立大学 | 15 | 16 | 14 | 17 | 15 | 14 | 19 | 18 | 21 | 26 | 28 | 27 | 21 | 32 | 21 |
| 岩手医科大学 | 0 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| 北里大学 海洋生命科学部 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / |
| 富士大学 | 82 | 60 | 41 | 24 | 20 | 16 | 16 | 15 | 18 | 26 | 26 | 34 | 24 | 29 | 29 |
| 盛岡大学 | 2 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 岩手県立大学 宮古短期大学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 岩手県立大学 盛岡短期大学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 修紅短期大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一関工業高等専門学校 | 3 | 3 | 7 | 8 | 8 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| 盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校 | 41 | 45 | 42 | 66 | 56 | 40 | 85 | 68 | 89 | 49 | 77 | 87 | 47 | 21 | 20 |
| 上野法律ビジネス専門学校 | / | / | / | / | / | / | / | 21 | 26 | 32 | 69 | 56 | 40 | 28 | 28 |
| 計 | 345 | 319 | 305 | 320 | 311 | 297 | 351 | 347 | 394 | 384 | 454 | 415 | 323 | 311 | 301 |

編集 岩手県留学生交流推進協議会事務局(岩手大学国際課)

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18番34号
TEL 019-621-6076 FAX 019-621-6290
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/suishinkyo/index.html>



※この広報誌はデータのみで作成し、本協議会のホームページに掲載しています。

令和4年3月発行